特集1

ここまでできる！ これならできる！

転倒予防チーム

活動実践と予防策の最前線

編著

鮫島直之

東京共済病院 脳神経外科部長

饗場郁子

国立病院機構東名古屋病院 脳神経内科・臨床研究部長

本特集では，転倒予防について実際にチーム活動を展開しているさまざまな病院や施設の取り組みを紹介します．また，看護師をはじめ職種別の役割や，それぞれの立場からの転倒予防のアプローチも必見．日々の看護ケアに活かせるヒントが満載です！

Illustration：藤本けいこ，日本グラフィックス

CONTENTS

総論 まずはおさえておきたい

なぜ今，病院内転倒が重要か～転倒予防チーム概論～
鮫島直之（前掲）

各論

Part1　多様な現場における転倒予防チーム

1.病院における転倒予防チーム

①急性期病院～東京共済病院の取り組み～
山内希世（東京共済病院 医療安全対策室 師長／医療安全管理者／転倒予防指導士）

②回復期病院～西広島リハビリテーション病院の取り組み～
岡本隆嗣　（西広島リハビリテーション病院 院長）
杉本真理子（西広島リハビリテーション病院 看護部長）
福江　亮（西広島リハビリテーション病院 リハビリテーション部）

③慢性期病院（神経難病病棟）～東名古屋病院の取り組み～
饗場郁子（前掲）

2.介護老人保健施設における転倒予防チーム～介護老人保健施設 清雅苑の取り組み～
當利賢一（社会医療法人 寿量会 介護老人保健施設 清雅苑 リハビリテーション部 主任）

3.地域における転倒予防チーム～「多角的介入」プログラムとCOVID-19感染拡大後の取り組み～
村山明彦（群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 講師）

Part2　転倒予防チームにおける各職種の役割

1.医師の役割　要因の多角的な分析・治療・方向性の決定
饗場郁子（前掲）

2.看護師の役割　急性期病棟における転倒予防
宮内尉江（東京共済病院 病棟看護師主任／転倒予防指導士）

3.理学療法士の役割　自立度判定，介助方法など　理学療法士の視点からのチェックポイント
東内大介（東京共済病院 理学療法士）

4.薬剤師の役割　転倒危険薬，骨粗鬆症治療薬，ポリファーマシーの把握と介入
打矢貴子（国立病院機構東名古屋病院 薬剤師）

5.管理栄養士の役割　栄養評価，食事内容調整から栄養指導まで
髙木咲貴子（国立病院機構東名古屋病院 管理栄養士）

6.医療安全管理者の役割　病棟ラウンドと現場へのフィードバックの実際
加藤万里代（国立病院機構東名古屋病院　医療安全管理係長）